



デジタルスクラップブック
～一人一台タブレットの有効活用～

“Society 5.0”

5.0



サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムによって開かれるこの社会

1.0

Society 1.0 狩猟



2.0

Society 2.0 農耕



Society 3.0 工業

3.0



4.0

Society 4.0 情報



サイバー空間

クラウド

人がアクセスして情報入手・分析



人がナビで
検索して運転



人が情報を分析・提案



人の操作により
ロボットが生産

フィジカル空間

サイバー空間

ビッグデータ

解析 AI 人工知能

センサー情報

環境情報、機器の作動情報、
人の情報などを収集

新たな価値

高付加価値な情報、
提案、機器への指示など



自動走行車で
移動



AIが人に最適提案



工場で自動的に
ロボットが生産

フィジカル空間

これまでの社会

知識・情報の共有、連携が不十分



IoTで全ての人とモノがつながり、新たな価値が生まれる社会

これまでの社会

地域の課題や高齢者のニーズなどに十分対応できない



イノベーションにより、様々なニーズに対応できる社会



Society 5.0

AIにより、必要な情報が必要な時に提供される社会



これまでの社会



ロボットや自動走行車などの技術で、人の可能性がひろがる社会



これまでの社会



Society 5.0を生きるために

- 社会の課題を自分事としてとらえて考えることができる力
- 自分の考えをわかりやすく発信する力
- 多面的な考えに触れ、融合させながら解決していこうとする力

つまり

Communication Skill

Collaboration Skill

NIE(Newspaper in Education)

新聞から学ぶこと

- 信頼性の高いメディアとして、事件や事故だけでなく政治や経済をはじめ様々な分野の情報についての情報を得る。
- 新聞は写真、表やグラフなどを効果的に活用されたわかりやすくまとめられた情報発信例として学ぶ。
- プロフェッショナルの書く見出しやリード文に日々触れることによって、考えを要約する力を学ぶ

GIGA(Global and Innovation Gateway for All) スクール構想による学びの改革

GIGAスクール構想における一人一台タブレットの活用

～「Teacher」から「Facillitator」へ～

- ・ より多面的な意見との出会いを作る。
- ・ より多くの人と意見交流を行える場を作る。

⇒Collaboration Platformとしての活用

なぜ、デジタルスクラップブック？

- 一人一台タブレットとデジタル新聞を使えば、一人一人が新聞を読むことができる
- デジタル新聞だとコピー＆ペーストで簡単に切り抜きや貼り付けができる。
- Collaboration Platform（Microsoft Teams等）を活用するとスクラップブックの交流が容易にできる。

朝日小学生新聞デジタル for school

- 一人一台タブレットとデジタル新聞を使えば、個々に新聞を読むことができる。
- 一人一人のアカウントなので学校だけでなく、スマホや家庭のパソコンでも見ることができる。
- スクラップ（切り抜き）機能がありコピー＆ペーストが簡単

Microsoft Sway

- プレゼンテーションソフトであるが、ブログ作成に近いため記事のスクラップを貼り付け、コメントを打ち込むだけでAIでレイアウト例を作ってくれるので選択するだけで簡単にデジタルスクラップブックづくりができる。
- クラウド上で作成されるのでURLやQRコードをCollaboration Platform上に張り付けるだけで容易に交流できる。

Collaboration Platform (Teams等) を使った交流

- Teams等のCollaboration Platformに公開することで、お互いのデジタルスクラップブックに対して意見交流ができる。

⇒まさに、GIGAスクール構想に則った一人一台タブレットを有効活用した主体的・対話的で深い学び